

[003]九州大学先端科学技術共同研究センター一年報 :
3

<https://doi.org/10.15017/15548>

出版情報 : 九州大学先端科学技術共同研究センター一年報. 3, 1997-05-17. 九州大学先端科学技術共同研究センター
バージョン :
権利関係 :



1. センターの概要

1.1 センターの目標

九州大学では、かねてより産業界等との研究協力を積極的に進めてきたところであり、平成6年度にその一層の推進を図るため、「九州大学先端科学技術共同研究センター」が設置された。本センターでは、民間等との共同研究や受託研究の実施、受託研究員の受け入れ、民間企業の現職技術者に対し高度の技術研修等を行うとともに、先端科学技術分野の振興を図るため、国内外の企業・研究機関とも積極的な交流を推進することとしている。この設置趣旨に沿って、「基礎的・先端的な研究における産業界等との研究協力の推進」、「複数講座と複数企業によるプロジェクト研究の企画と実施」、「先端科学技術分野における国際交流の推進」をセンターの主な業務としている。

更に本センターでは、社会とのコミュニケーションを大切にし、定期的なフォーラムの開催やリカレント教育の実施とともに、九州地域の産業育成にも貢献を行いたいと考えている。

本センターでの研究・開発は、特に分野を限定せず、地域社会の要請に柔軟に対応させた幅広い学際的共同研究を計画・実行するものであるが、中でも、電離気体科学、レーザー理工学、半導体工学、情報科学、新素材、セラミックス、エレクトロニクス、バイオテクノロジーに重点を置く。

本センターには専任教官2名が措置され、従来の各大学の「地域共同研究センター」の機能に加えて、新たな研究協力の実施が求められている。以下に本センターの特色を示す。これを我々は本センターの役割を表す「3本柱」としている。

1. 九州大学と民間企業との共同研究を推進する

(a) 個別共同研究

企業と単一講座（部門）間の共同研究を行う。

(b) 複数講座と複数企業との共同研究

複数講座（部門）と複数企業でプロジェクトチームを構成し、共同研究を推進する。

従来、大学で行われてきた共同研究は(a)の型であった。それについては、今後とも積極的に推進するものとし、センターでは必要な支援を側面から行う。他方、民間企業の研究開発ニーズと学内の研究のシーズを調査し、それを組織して(a)または(b)の型の共同研究とする。特に、民間企業の開発ニーズや学内シーズを新規技術として育て上げるには、複数の開発要素が関与することが多い。その解決、開発のためには、複数講座からなるプロジェクトチームを構成して研究を進めることが求められる。ここでは、従来の大学の学部・学科・講

座の枠組みを越えての研究が行われることになり、従来の細分化された大学組織を横につなぎ直す新しい契機になることが期待される。

II. 世界的な場における研究交流振興を図る

(a) 外国企業、大学、公設研究機関との共同研究の推進

外国企業からの委託を受けた共同研究、外国の大学、公設研究機関との共同研究を行う。

(b) 外国人研究者の招へい

第一線の外国人研究者を招へいして、センターでの共同研究に参加させる。同時に発展途上国の若手研究者を招いて、技術研修、さらには能力のある者については学位取得の機会を与える。

(c) 国際会議の組織

共同研究センターにふさわしいテーマについて国際会議を組織し、成果の討論の機会にする。

(d) 外国人訪問者による講演会の開催

センターへの著名な外国人の訪問者による講演会を行う。

III. 先端科学技術分野の産官学交流を推進する

(a) 先端科学技術講演会（年1回）

国内の産官学の代表的識者をお招きして、今後の科学技術分野の研究開発方策・施策のあり方を講演していただく。

(b) セミナー（年10回程度）

センターの客員教授による、それぞれの専門分野に関するセミナーを行う。

(c) 民間技術者のための技術研修会（2カ月1回）

民間技術者のリフレッシュ教育、新分野の紹介的な会合を行う。

(d) 高度技術研修（年数回）

(e) その他講演会（適宜）

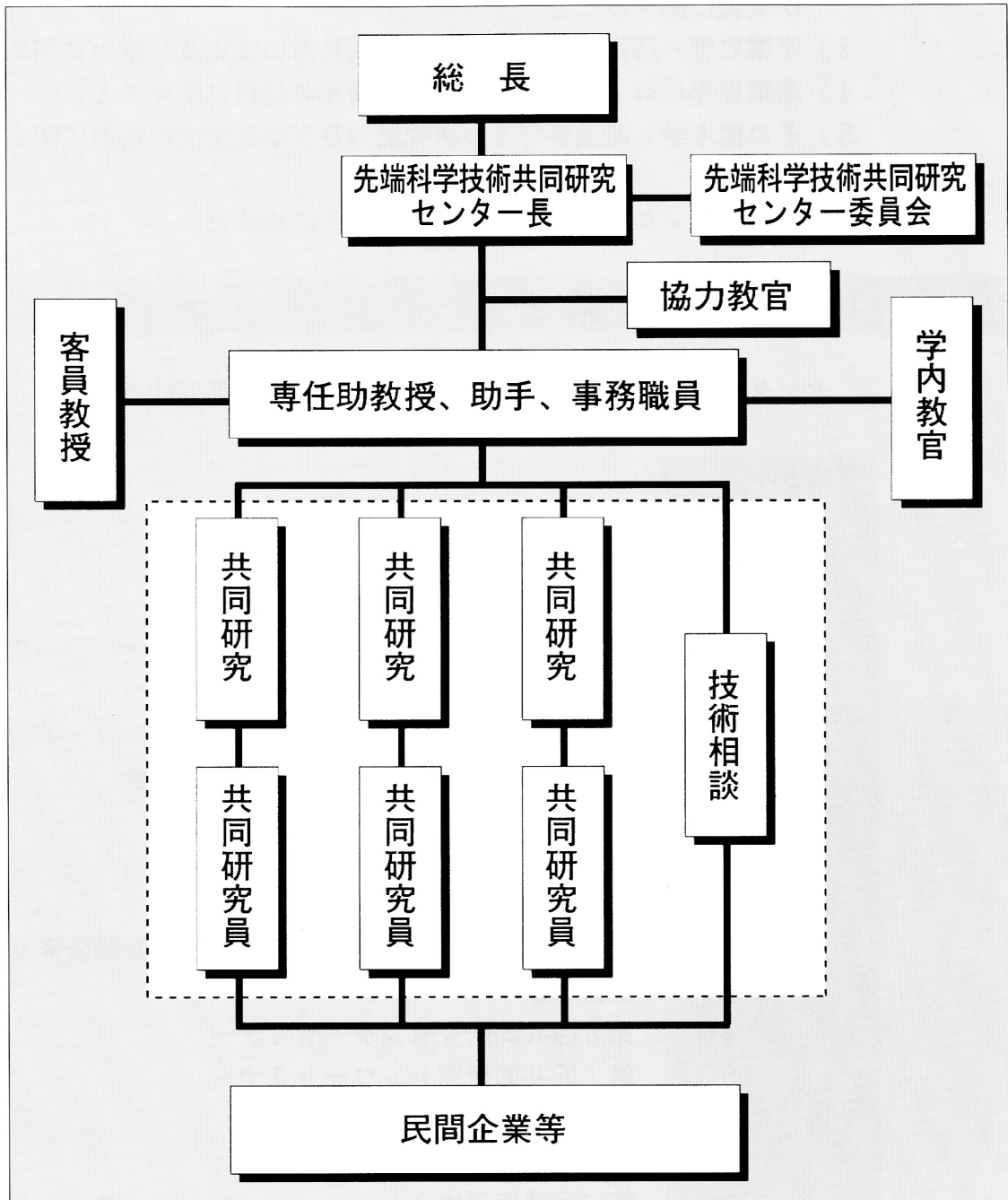
(f) ニュースの発行（2カ月1回）

(g) 技術相談（随時）

1.2 運営方法と組織

センターの運営は、「九州大学先端科学技術共同研究センター規則」（その全文を附録1に示す）に則って行われる。すなわち、全学から選出されたセンター委員（平成8年度の委員名を附録2に示す）によるセンター委員会が最高の意志決定機関となり、センター長、専任助教授、専任助手、事務職員からなる執行部会がセンター業務の実行にあたる。以下に、センターの組織図を示す。

■センターの組織図



■センター委員会の構成

理学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、農学部、大学院比較社会文化研究科、大学院数理学研究科、大学院総合理工学研究科、大学院システム情報科学研究科、応用力学研究所、機能物質科学研究所及び生体防御医学研究所の教授及び助教授のうちから、各部局ごとに選ばれた者各一人、加えて文学部、教育学部、法学部及び経済学部の教授及び助教授のうちから選ばれた者一人

■センター委員会の役割

- 1) 本学と民間等との共同研究及び受託研究の企画及び実施に関すること。

- 2) 先端科学技術分野における本学と産業界等とのプロジェクト研究の企画及び実施に関すること
- 3) 産業界等の技術者に対する高度技術教育の実施及び協力に関すること。
- 4) 産業界等に対する本学の学術研究情報の提供に関すること。
- 5) その他本学と産業界等との研究協力及び学術交流の推進に関すること。

今年度のセンター委員会の議事を附録3に載せた。

1.3 活動経過

センターに関連した主な行事、イベント等を時系列的に示す。

平成8年		
		センター棟完成
4月	1日	客員教授着任
	23日	第7回センター委員会
5月	10日	第10回技術研修会
		センターニュース第10号発行
		センターパンフレット第2号発行
		センター年報第2号発行
	25日	第3回産官学先端科学技術研究会評議会
		第9回先端科学技術講演会
		センター竣工式・祝賀会
6月	21日	第6回共同研究センターセミナー
7月	3日	第1回福岡県・九州大学先端科学技術共同研究センター共創会議(仮)
	4日	第8回共同研究センターセミナー
	5日	第7回共同研究センターセミナー
	8日	先端技術フォーラム in 九州
	10日	第8回センター委員会
	12日	第11回技術研修会
		センターニュース第11号発行
	22日	第3回九州地区共同研究センター長会議(担当：九工大)
8月	22日	第2回福岡県・九州大学先端科学技術共同研究センター共創会議(仮)
	22,23日	第9回国立大学共同研究センター専任教官会議(担当：岡山大)
9月	10日	第9回共同研究センターセミナー
	13日	第12回技術研修会
		センターニュース第12号発行
10月	3,4日	第8回国立大学共同研究センター長会議(担当：東京農工大)
	21日	第10回共同研究センターセミナー
	22日	福岡県・北九州市と九州大学先端科学技術共同研究センターとの連絡会議

11月	14日	第4回産官学先端科学技術研究会評議会	
	15日	産官学交流イベント（第13回技術研修会）	センターニュース第13号発行
		「新規事業発見・創造 on Campus」	
	21日	第11回共同研究センターセミナー	
	22日	第12回共同研究センターセミナー	
	26日	第9回センター委員会	
平成9年			
1月	10日	第3回福岡県・九州大学先端科学技術共同研究センター共創会議	
		第14回技術研修会	センターニュース第14号発行
2月	25,26日	第1回高度技術研修	
3月	5日	第13回共同研究センターセミナー	
	14日	第15回技術研修会	センターニュース第15号発行
	18日	第10回センター委員会	
